

製品名: LPHN3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13392**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	159kDa

抗原情報

遺伝子名	LPHN3 KIAA0768 LEC3
別名	
遺伝子 ID	23284.0
SwissProt ID	Q9HAR2
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

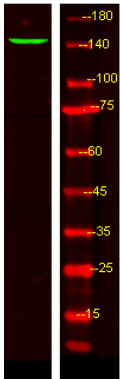
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 (GPCR) のラトロフィリンサブファミリーのメンバーをコードしています。ラトロフィリンは細胞接着とシグナル伝達の両方に機能する可能性があります。ヒト以外の動物種を用いた実験では、システインに富む GPS (G タ

ンパク質共役受容体タンパク質分解部位) ドメイン内での内因性タンパク質分解により、2つのサブユニット (大きな細胞外 N 末端細胞接着サブユニットと、GPCR のセクレチン / カルシトニンファミリーと高い相同性を持つサブユニット) が細胞膜に非共有結合して生成されました。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],PTM: タンパク質分解により 2つのサブユニット (細胞外サブユニットと 7 回膜貫通サブユニット) に切断されます。、相同性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。LN-TM7 サブファミリー。、類似性: 1 つの GPS ドメインを含みます。、類似性: 1 つのオルファクトメジン様ドメインを含みます。、類似性: 1 つの SUEL 型レクチンドメインを含みます。、サブユニット: 7 つの膜貫通部分 (p85) に非共有結合で連結された大きな細胞外領域 (p120) からなるヘテロ二量体を形成します。、

研究分野

-

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。